

第6学年 算数科 年間指導計画

【学年目標】

- (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。
- (2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにします。
- (3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深めます。
- (4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにします。

	単元名	学習内容
前期	1 つりあいのとれた形を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ○線対称, 点対称の意味, 対応する点, 辺, 角について知る。 ○線対称の対称軸や対応する点をつなぐ直線との関係などについて知る。 ○点対称の対称の中心や対応する点をつなぐ直線との関係などについて知る。 ○線対称や点対称な図形を見つかったり, 作図などの活動を通して図形の性質を見つかったり, 確かめたりできる。 ○基本的な線対称, 点対称な図形を能率的に作図することができる。 ○多角形と線対称, 点対称との関係がわかる。
	2 円の面積の求め方を考えよう	○円の面積の求め方を知り, それを用いる。
	3 文字を使って式に表そう	<ul style="list-style-type: none"> ○数量を一般的に表現するのに言葉や□, △などの代わりに, a, x などの文字を用いる。 ○未知数をx として式を立て, x を求めることができる。
	4 分数のかけ算を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ○帯分数を含む分数の乗法計算の意味とその計算のしかたを知り, それを用いる。 ○分数の乗法計算のしかたを, 分数の性質や既習の計算をもとにしたたり, 関連づけて考える。 ○分数の乗法についても, 乗数が整数, 小数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを知り, 計算法則を活用する。 ○逆数の用語と意味を知る。
	5 分数のわり算を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ○帯分数の除法を含む除数が分数である場合も, 除数が整数や小数の場合と同じように考えればよいことに気づき, 除法の意味と計算のしかたを知り, それを用いる。 ○3口の分数の乗除混合の計算のしかたを考える。 ○分数倍の意味を知り, 倍を用いて問題を解決する。 ○整数倍や小数倍の考えを拡張して, 分数倍をとらえ, 比較量, 基準量を求める。 ○分数と小数のまじった計算ができる。
	6 角柱と円柱の体積の求め方を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ○角柱, 円柱の底面積や高さの意味がわかる。 ○角柱の体積が底面積×高さで求められることがわかる。 ○円柱の体積が底面積×高さで求められることがわかる。

	7 およその面積や体積を求めよう	○身の回りのものの形のおよその面積や体積を、既習の基本図形の概形としてとらえ、およその面積や体積を求める。
	8 割合の表し方を考えよう	○2つの数量の関係を表すのに、比を用いることを知るとともに、比で表したり、等しい比をつくったりする。 ○比は、割合の1つの表し方であり、そのままの数を用いて表せるよさがある。 ○比の性質を利用して、問題解決をする。 ○比の値がわかり、比を簡単にすることができる。 ○比例配分の問題が解ける。
	9 形が同じで大きさがちがう図形を調べよう	○拡大図や縮図をかくことができる。 ○対応する辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ○拡大図、縮図の意味や性質を理解する。
後期	10 速さの表し方を考えよう	○速さについて知り、その表し方や、速さを求める公式をつくり、活用する。
	11 比例をくわしく調べよう	○比例・反比例の関係について知り、比例・反比例の関係を表から読み取ったり、比例・反比例のグラフの特徴を読みとる。 ○伴って変わる2量の関係を、表や式・グラフなどを用いて調べる。 ○比例・反比例の意味や性質、グラフの特徴を調べ、活用する。 ○比例の関係をを使って問題を考える。
	12 順序よく整理して調べよう	○簡単なことからについて、ならび方や組み合わせなどを図や表を作って、すべての場合を落ちや重なりのないように、順序よく調べる仕方を考える。 ○起こり得る場合を調べる時、ある特定のものに着目して、考えられる場合を順序よく整理して調べることができる。
	13 資料の特ちょうを調べよう	○資料の平均について知る。 ○資料のちらばりを表にしたり、表を読み取ることができる。 ○柱状グラフの意味について知り、柱状グラフに表すことができる。 ○いろいろなグラフを読み取り、その特徴がわかる。
	14 量の単位のしくみを調べよう	○メートル法の単位の仕組みについて、これまでの学習をまとめて、単位間の特徴に気付くとともに、これを有効に用いようとする。 ○長さの単位と面積、体積の単位との関係、水の重さと体積の関係を知るとともに、単位について関心を持ち、日常生活の中で自分で調べようとする。

評価について

○数理的な事象に関心をもつとともに、数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする。(算数への関心・意欲・態度)

○数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、総合的に考えたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けている。(数学的な考え方)

○分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、図形を構成したり、数量の関係をを表したり調べたりするなどの技能を身に付けている。(数量や図形についての技能)

○数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、体積の公式速さの意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解している。(数量や図形についての知識・理解)

* 単元ごとに行うテスト・授業中の発言・ノート等で評価し、学習指導に生かしていきます。